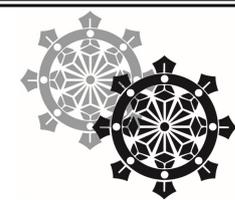


『御剣』室町時代（十五世紀頃）



赤神山

赤神山
(あかがみやま)
赤神山とは、太郎坊大神様がお鎮まりになる近江国高天原、すなわち太郎坊山の御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↓

ご挨拶

太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

いま上にお示しした「御剣」は、約五百年程昔の室町時代に製作され、当社社に納められた神宝です。存在は語り継がれていたものの、長らく所在が明らかでないままでした。その御剣が、本年八月に神庫の中より発見されました。

古来、神が携える御剣には靈威が宿ると信ぜられ、諸魔を降して苦難を払うものと敬仰されました。世界を覆う病魔の跋扈によって社会が乱れる今日、諸悪を打ち破る御剣の出現は、一つの瑞兆と思わずにいられません。

当社社が十二月に執行するお火焚大祭でも、靈威を宿す剣を用いた儀式が行われます。修験者が剣を振りかざす所作には「迫り来る魔をことごとく薙ぎ倒す」という意味があります。そしてこの儀式

は、私たち人間の心に棲まう「魔」を打ち破るためのものでもあります。

「魔」とは、人の心を乱し、行いを曲げる邪なものを指します。残念ながら、今般の新型コロナウイルス感染症の流行に際しても、この「魔」は大いに蔓延ったようです。感染者や医療従事者に対する誹謗中傷、差別——。他者を慈しまぬ人の心の魔が、病とは異なる災禍を惹起しました。

かの西郷南洲翁は、人々を諭す際に「敬天愛人」の語を常々用いられたといっています。この訓えには「天地の神々はもとより、目に見えぬ万物を敬い尊び、あらゆる人々を愛し、慈しむ」という実に深い真理が込められています。心の荒廃が憂慮される今こそ南洲翁の遺訓を胸中に戴し、皆様と共に尚一層の精進に励んで参りたく思います。

来る令和三年は丑年。丑年は「我慢の年」と言い、堅実に物事を進め、発展を目指して力を蓄えるのに相応しいとされます。後々の飛躍を誓い、怠りない一年を過ごす決意を新たに致します。

社務日誌(抄)
参集殿日誌(抄)

七月 合祀祭

献茶祭

東近江ロータリークラブ様

例会

千日大祭

責任役員就任奉告祭

東近江市役所様

事業者支援研修会

市立布引小学校様 校外学習

十月 観月祭

抜穂祭

聖徳太子一四〇〇年祭

実行委員会 発足式

日本ラグビーフットボールリーグ

NTTドコモ

レッドハリケーンズ様

必勝祈禱

市立箕作小学校様 校外学習

山本光輝様 書法講習会

十一月 一願成就社報恩祭

東近江市青年会議所様

かあくろう君調印式

献菊祭

駐車場新設竣工式

十二月

お火焚大祭

師走大祓式

恒例のお祭り・神事のご報告

例年であれば大勢の参拝者をお迎えるお祭りですが、今年には新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、一部内容を変更して行いました。

◆千日大祭

祭事の規模を一部縮小して実施しました。新しい催し「ふうりん祭り」は大変好評で、各種メディアでも取り上げられました。

また、大祭の第一日目には約五分間の打ち上げ花火を実施。「三密」を避けるための人々を元気づけるための鮮やかな花火が夜空を華やかに彩りました。



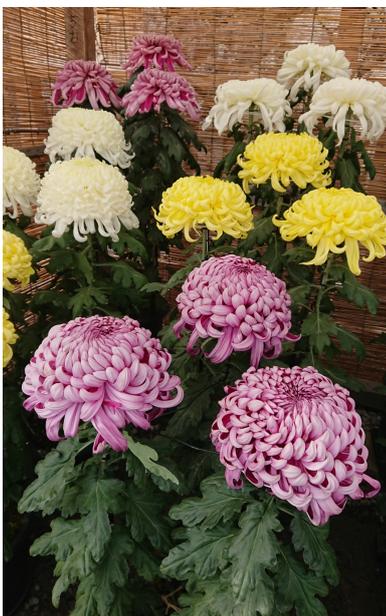
◆一願成就社報恩祭

一願成就社創建日にあたる十一月三日、恒例の報恩祭を実施しました。修験者による神前読経の他、特別祈禱を執行。日々のご加護を感謝すると共に、尚一層の御利益を願いました。



◆献菊祭

神様に菊花を奉げる献菊祭。本年も会員入念の花々が神前に献じられました。優秀者には農林水産大臣賞を始めとする各賞を授与しました。
← 今年の農林水産大臣賞受賞作



聖徳太子一四〇〇年

悠久の近江魅力再発見委員会の発足式が開かれました

東近江地域には「聖徳太子が開いた」「聖徳太子が作った」「聖徳太子の教えに基づいた」といった、聖徳太子にまつわる伝説が数多く残されています。そうした数多ある太子伝説を整理・発信すること、地域おこしや観光振興を目指す「悠久の近江魅力再発見委員会」の発足式が行われました。

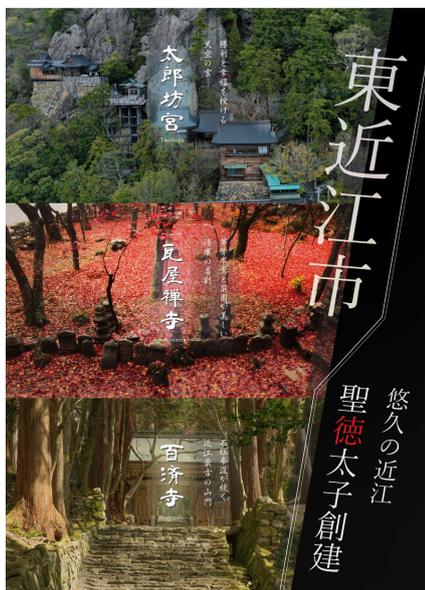
会場となった当神社参集殿には、関係する二市二町の首長および十一の社寺が集まり、結束を再確認。この事業の実行委員長に選任された小椋正清東近江市長は「聖徳太子は、東近江の人々にとって身近な存在。その聖徳太子の訓えを抛り所に、地域の発展に寄与したい」と挨拶され、成功に向けての意気込みを示されました。



聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会

発足式に続いて開かれた第一回委員会では、事業計画の策定に向けた協議がされました。

聖徳太子の没後一四〇〇年の節目を迎える令和四年を見据え、各社寺では記念御朱印の授与や秘仏の開帳、宝物の展示が計画されています。当社でも「神宝展」や「聖徳太子の足跡をたどる健康ウォーキング」等を予定しています。



頑張れ！

NTTドコモ

レッドハリケーンズ！

ジャパンラグビーのトップリーグで活躍する、NTTドコモレッドハリケーンズ（大阪市）。その選手団が太郎坊宮を参拝し、必勝祈願をされました。拝殿へ進んだチームの代表団は、来季トップリーグでの躍進を誓われました。

また、十月末からは近隣の布引運動公園で強化キャンプも実施。来季に向け、充分力を蓄えられた事と思えます。チームの益々の躍進をお祈りします！



医療従事者へ感謝を表す
ブルーライト活動に参加中です

太郎坊宮では、新型コロナウイルス感染症治療などに携わられる医療従事者の方々に感謝を表す、全国的なブルーライト活動に参加しています。



巫女さん体験を行いました

「太郎坊宮の巫女さんから、巫女さんの一日を学ぶ」体験イベントを行いました。

参加者は実際に巫女装束に身を包んで、御神前の清掃や祝詞の書写を体験。また、神楽舞の講習も行い、実際に神様への奉納も行いました。なかなか出来ない

「巫女さん体験」

ということもあり、楽しく参加して頂きました。



新駐車場が完成です

この度、東近江市に本社を置く株式会社向茂組様から土地の寄付を賜り、新駐車場として整備を行って頂きました。お正月には、他の駐車場と併せてご利用ください。

※新駐車場は、参道のドライブウエーを少し上った場所にあります。裏面境内㊦「第二駐車場」の案内地になります。



責任役員異動のご報告

当社社発展のために長らくご尽力を頂いた松坂肇責任役員が、逝去されました。此処に生前のご功績を顕彰すると共に、謹んで哀悼の意を表します。

また、関係各法規及び神社規則に基づく新責任役員選任を行い、滋賀県長浜市の辻川作男様にご就任頂きました。

目指せ、全国進出！

かあくろう君を応援します



二月の節分厄除大

祭の豆まきでもおなじみ、公益社団法人東近江青年会議所のキャラクター「かあくろう君」。

ピンクのボディがカワイイ彼ですが、太郎坊天狗の弟子（見習い）なんです。そんな彼を、もっともっと広めよう！

・・・ということ、青年会議所と太郎坊宮の間で覚書が交わされました。これから、

太郎坊宮

の色んなところ

「かあく

ろう君」

に出会うかも？



献灯講のご案内

「献灯」とは、神様に清火の明かりをささげることがを言います。神様の御前に清火を奉げる歴史は古く、心を込めて献じられた灯明の祈りは天に通じるとされます。



献灯講（けんとうこう）は、そうした思いのもとに結成された会です。現在は防火防犯の観点から、電気式灯籠による献灯を境内各所に設置。会員の方々から寄せられたご芳志で、太郎坊宮全域に灯火を献じています。献灯講への入会は随時受け付けていますので、神社までお問い合わせください。

- ◆ 献灯講の会費は、年間四五〇〇円からとなります。
- ◆ ご希望の方は、電灯籠にお名前を掲示致します。

ご報告

◆ 本年十月に予定されていた敬神講社主催研修旅行は、新型コロナウイルス感染症等の状況を鑑みて中止致しました。

◆ 県外神社へ出向していた当神社の神職が復籍致しました。宜しくご指導の程、願ひ上げます。

権禰宜 中西勝哉
十月二十一日付



表紙解説

今号表紙には室町時代の「御剣」を取り上げました。剣の起源は古く、神々が携える武器として神話にも登場します。しかし、戦いの道具としては平安時代頃に早くも衰退し、以降は神具としてのみ製作されたようです。

本作の刃は非常に鋭利で、五百年もの時を経てなお輝きを有しています。本年八月に神庫で発見されました。今後、公開に向けて調整を行います。

新しい授与品の紹介

◆ 神紋入りマスク

太郎坊宮の神様の紋様「輪宝（りんぼう）」を描いたマスクです。輪宝紋には「災いを祓う」「諸悪を倒す」という意味があり、古くから尊ばれてきました。伸縮素材で通気性もバツグンです。国産（東近江産）。



各六〇〇円

◆ 木製御尊像お守り

太郎坊宮に伝わる掛軸の絵柄をもとに、木彫りのお守りを製作しました。御尊像ごとに御利益が異なりますので、お願い事に併せてお受け下さい。

各八〇〇円

- 右・太郎坊大神
(勝運授福)
- 中・太郎坊天狗
(心身守護)
- 左・赤神不動尊
(諸難消滅)

※天然の木材使用のため、木目は全て異なります。





登録有形文化財
保存修復事業基金

令和の大整備

勝利と幸福を授ける神——として信仰される太郎坊宮。その信仰の歴史は非常に古く、人々は一四〇〇年以上も前からこの地で神様を祀り続けてきました。

江戸時代には各地で「太郎坊信仰」が広がりを見せ、数多くの崇敬者が競って参拝に訪れたといわれます。それに併せるように太郎坊宮の境内一帯も急速に開発され、今のような景観が形作られました。

現存する太郎坊宮の建造物は、いずれも当時最高峰の技術を駆使したもので、貴重な文化的価値を有すると認められています（国の登録有形文化財）。こうした文化財建造物を恒久的に修復し、保存活用するために創設されたのが、本基金です。

我が国に息づく神道文化の興隆と郷土文化の伝承のため、各位のご支援をお願い申し上げます。



◆寄付金額・口数

・ご芳志

※寄付の金額や回数に決まりはありません

◆お申し込み方法

- ・太郎坊宮内の各受付所 または
- ・左記の金融機関口座へのご送金

◆寄付金受け付け口座

・滋賀銀行

八日市支店 普通 843694

宗教法人阿賀神社（アガジンジャ）

◆その他

- ・ご寄付を頂いた方は神庫収蔵台帳に記名のうえ、永久保管致します
- ・金一万円以上のご寄付を頂いた方は、境内にお名前を掲示致します

◆お問い合わせ先

TEL:527-0091

滋賀県東近江市小脇町2247番地

太郎坊宮社務所内

『令和の大整備 基金事務局』

TEL:0748-23-1341

FAX:0748-25-0787

— 神様への感謝の気持ちを形にして —

各種奉納のご案内

太郎坊宮の神様にお願ひ事をして、それが叶ったとき・・・

「神様、ありがとうございます」

— という気持ちになりませんか —

神様へ「ありがとうございます」の思いをお伝えすることを、お礼参りといひます。

真心を込めてお礼をすると、神様にあなたの気持ちが届くはず。

その思いを込め、太郎坊宮の神様がお使いになる品々をささげていただくご案内です。

◆狛犬（こまいぬ）

神域の守護者。石造。ご希望のお名前を彫刻します。一基三十八万円です。

◆燈籠（とうろう）

御明かりを捧げます。石造。ご希望のお名前を彫刻します。一基三十五万円。



◆鳥居（とりい）神域の結界。木造。

お名前を筆記します。七万円

◆玉垣石（たまがきいし）神域の境界。

石造。お名前を彫刻します。五万円。

◆三方（さんぼう）・土器（どき）類

神様がお使いになる食膳器台など。お名前を筆記します。五千元より。

◆御鏡餅（おかがみもち）新年を祝し

神様へ奉るお鏡餅。三千元より。

◆神酒（おみき）神様が召し上がる酒。

二千元より。

◆日供（にっく）毎朝、神様へ祈りと

共に奉げるお食事。年間一万二千元。

※記載品目以外の奉納も承っています。

また、ご希望額のお初穂料（現金）による奉納も受け付けています。

毎月祈禱

毎日祈禱 ご案内

「神験即現（しんげんそくげん、尊い御利益がすぐに現れる）」として讃えられる太郎坊大神様のご加護を願われる方のため、毎日または毎月、神主がご祈禱を致します。

◆毎日祈禱（まいにちきとう）

神主が毎朝ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※年間の祈禱料・三万六千五百円。

◆毎月祈禱（まいつききとう）

神主が毎月ご祈禱をし、大神様のご加護があるよう祈ります。

※年間の祈禱料・一万二千元。



新春

はつもうでのご案内



感染症を防ぐために

◆社が行う対策

- ① 職員の検温・体調検査
- ② 職員のマスク着用
- ③ 手指消毒液の設置（各所）
- ④ 空気除菌剤の設置（各所）
- ⑤ 空気清浄機の設置（室内）
- ⑥ 案内による感染症対策の啓発
- ⑦ 水柄杓・鈴緒の撤収
- ⑧ 時期をずらしたお参りの推奨



※十二月二十五日～一月十五日まで
初もうで特別対応を実施予定

◆初もうでにお越しの皆様へ、ご協力を お願いする対策

- ① 体調不良の時は、出かけない
 - ② マスクをつけて、出かける
 - ③ 大きな声で会話をしない
 - ④ 他の人と十分な距離を保つ
 - ⑤ 手指消毒液を積極的に使う
 - ⑥ お守りは、購入する物だけ触る
 - ⑦ お参りの時期をずらす
- （十二月二十五日～一月十五日頃）



年始の受付時間

十二月三十一日	〇時迄
一月 一日	〇時～十九時頃
二日	八時～十八時頃
三日	八時～十八時頃
四日	八時～十七時頃
五日	八時～十七時頃

施設案内（下図をご覧ください）

① 本殿

※お参りのみ（各種祈禱は拝殿）

② 拝殿

※各種ご祈禱・受付はこちら

③ 参集殿（団体ご祈禱・ご朱印等）

④ 祈禱殿（ご祈禱・おまもり等）

第一駐車場（お手洗い）

⑤ 授与所（おまもり・おみくじ等）

⑥ 第二駐車場（新設）

⑦ 第三駐車場（寺前）

⑧ 第四駐車場（参道登り口）

⑨ 第五駐車場（参道登り口手前）

⑩ 第六駐車場（神田前）

⑪ 第七駐車場（近江鉄道駅前）

◆混雑緩和のため、ご祈禱の受付場所を変更します。
◆本年は、本殿ではなく拝殿でご祈禱を行います。
◆混雑緩和のため、各所で一方通行規制を行います。
◆警備員の誘導に従ってください。
◆山道ドライブウエーの瓦屋寺T字路より先は、相互通行です。対向車にご注意下さい。
◆体調がすぐれないお方のお参りはご遠慮下さいませよう、お願い申し上げます。

